

## 11 月 15 日 : VN 指数は 3 日続落、大型株が重荷に

ホーチミン取引所の VN 指数は 3 日続落、ビナミルク、ベトコムバンク、ベトナム投資開発銀行などの大型株が市場の重荷になった。

VN 指数は 0.22% 下落し 1010.03 ポイントで取引を終えた。先週 4 日目の下落となり、合計で 1.2% の下落となった。

181 銘柄が下落し、137 銘柄が上昇、105 銘柄が変わらずだった。

大型株はまちまち、13 銘柄が下落、12 銘柄が上昇、5 銘柄は変わらずだった。

上昇した銘柄として、ペトロベトナムガス (GAS)、モバイルワールドインベストメント (MWG)、VP バンク (VPB) などは 1% 以上上昇した。しかし、ビナミルク (VNM) (-2.3%)、ベトコムバンク (VCB) (-1.3%)、ベトナム投資開発銀行 (BID) (-1.2%) などが大きく下落したことで、市場の重荷になった。

流動性は平均的な水準であった。米中貿易交渉の鈍化が、市場に悪影響を与えていると BIDV 証券のアナリストは語った。

出来高は 2 億 1200 万株で、売買代金にして 7 兆ドンであった。

ホーチミン取引所は 3 つの新たな指数を発表する。VN ダイヤモンド指数、VNFIN Lead 指数、VNFIN Select 指数の 3 つであり、それらが外国人の持ち株問題を解決し、指数に新たな動きをもたらすと期待されている。

ホーチミン取引所は、月曜日から新しい指数が始まり、ETF を組成する投資ファンドへの指針をもたらすだろうと語った。

ハノイ取引所の HNX 指数は 2 営業日続落、0.2% 下落し 106.03 ポイントで取引を終えた。出来高は 2800 万株で売買代金にして 5370 億ドンであった。

バオベト証券のアナリストによると、下落局面の後に、市場は押し目買いの段階に入ったかもしれない。再び上昇する前に、1000-1030 ポイントでの値固めになるだろう。

今週は支持材料に欠けており、セクターごとにばらつきのある動きになるかもしれないと予想した。

## ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。